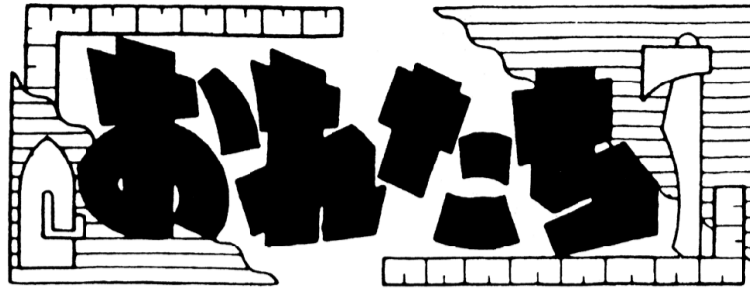


### 無料法律相談日の案内

2月16日(金)14時~16時

希望者は前日までに予約を

1月当初組合員数=1838人 (-11人)



発行所  
東京土建一般労働組合荒川支部  
東京都荒川区荒川6-3-1  
TEL(3892)9131 FAX(3892)9381  
発行者・津田宗久/編集長・小熊賢一  
http://www.doken-arakawa.org/

# 平和を願い声を上げて 国を変える

## 新年の願い

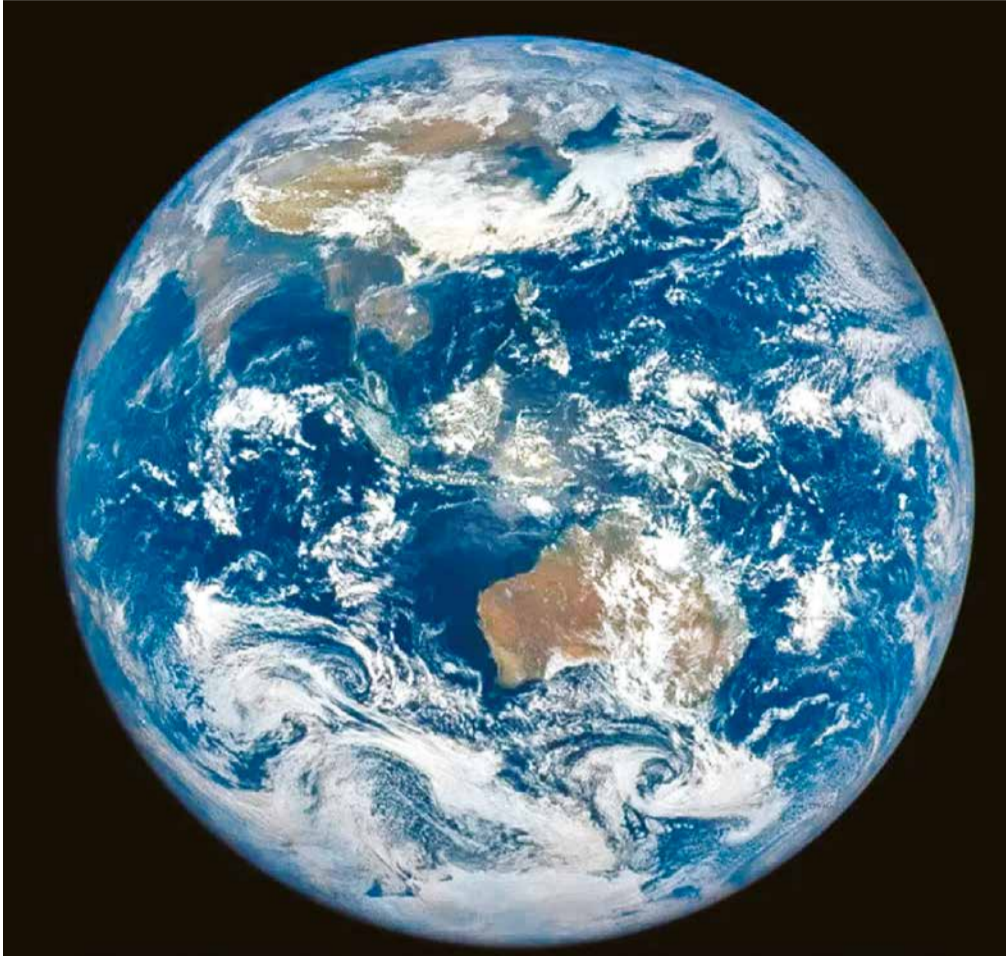
の不備による経済的困難の中、組合活動にご協力くださいまして心より感謝いたします。

【竹達浩通信員 南千住分会】組合員の皆様ならびにご家族の皆様、あけましておめでとうございます。

昨年中は世界情勢の混乱とコロナ禍による物価高騰に対する政府の国民救済対策(消費税減税)

## 世界は再び二極化

21世紀も混乱期に突入との声も聞かれる今、私達は家庭の中では責任のある立場に立つ者として、また国の中では主権者であり行政の審判者として、世界の中では多くの国の人々との同胞として



外見は変わらなくとも刻一刻と変化していく世界

の係り方を真剣に討議し信頼の醸成に努めることが問われています。  
第二次世界大戦終結後、世界情勢は資本主義陣営のアメリカと、社会主義陣営のソ連との二極化が深化し冷戦が続きました。両陣営は国防の名の下に核軍拡競争を展開し、一國で地球を破壊するほどの核兵器保有国となりました。

核兵器使用の威嚇と中国のロシア加担の表われ、北欧フィンランドのNATO(北大西洋条約機構)加盟によるロシアとの軋轢、中国習主席の台湾侵攻の言明、南シナ海上に中国が独断で制定した、九段線内の公海の実効支配による中国とベトナム・フィリピンと島の領有問題と南シナ海公海の自由航行の問題。日本とは尖閣諸島の領有問題など、中東ではイスラエルとハマスの紛争が悲惨な状況にあり、また日米同盟による中国との軋轢などいづれの紛争も地政学的には、権威主義と民主主義の衝突とみられ再び世界は二極化に進行し、核第三次世界大戦勃発をはらんだ楽観を許さない状況の到来も心配されます。

## 憲法精神の確認

このような緊迫した世界情勢の中で我々は、今どのような行動をとるべきかが問われています。戦争とは計画的破壊と計画的集団殺人行為で地上では最も凶悪な犯罪であり、正義の戦争はどこにもありません。  
日本は過去の無謀な日中戦争で横暴の限りを尽くし、中国の人々に辛酸な想いを負わせ、最後は自らの頭上に原子爆弾の洗礼を受けるまでは、自らの傲慢で横暴な実態を認めませんでした。日本

更に憲法9条では、  
1、「日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては永久にこれを放棄する」。  
2、「前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない」

## 声を上げて

世界に戦争が人命と財産と平和を守った記録はありません。今、私達に求められていることは過去に犯した戦争で自他ともに受けた戦禍を忘れずに、主権者として世界の人々と共に声を大きく上げていくことです。新年に戦争に終止符を打つことを願って止みません。声を大きく上げましょう。



# 謹賀新年



【津田宗久執行委員長】

明けましておめでとございます。今年も沢山の仲間と共に新しい年を迎えることができ大変嬉しく思います。

昨年は1年を通して組合の様々な活動にご理解、ご奮闘頂きました事に感謝を申し上げます。組織拡大に於いては秋の拡大は7年ぶりに目標を達成し多くの仲間と初めてお店で祝杯を上げたことは記憶に新しいところです。皆様大変ご苦勞様でした。

昨年はロシアのウクライナ侵攻に続きイスラエルとパレスチナの紛争も勃発して危うい世界情勢が続いています。それらの影響によりエネルギーや食料の不足で何もかもが値上がりし実質賃金は19か月連続マイナースト国民の生活は困難な状況でした。日本国内では12月に自民党の政治資金パーティー問題が大きく取り出され国民生活とは全く乖離した政治と金の問題が浮き彫りになりました。

そのような中、政府は大多数の国民の意見を無視して10月からインボイス制度を強行導入しました。年

収100万円の低所得者からも消費税を巻き上げ元請け、下請けそして労働者と全ての人に悪影響を及ぼす大増税です。

そして今年の12月には保険証を廃止してマイナ保険証1本化を明言しています。沢山のお金を注ぎ込み問題だらけの制度移行は全く理解できず、国民を馬鹿にしていると思えます。インボイス制度やマイナバー制度を政府から請け負った企業からは自民党に多額の政治献金があったことも報告されています。政府は誰を見て政治を行っているのでしょうか？

国民の格差も開くばかりでこの先の社会保障改悪、軍事拡大増税等で日本は大変な局面を向かえています。増々我々労働組合の真価が問われます。我々国民も声を挙げ立ち上がるべきです。選挙の投票率の少さが今の悪政を作った要因でもあります。少くとも80パーセント以上にしないといけません。

声を挙げれば政治は変わります。また組合活動も多く仲間に関心を持って参加して頂き我々の要求実現の為に団結して頑張りましょう。私も先頭に立ち今年1年諸課題に取り組み奮闘して行く次第です。仕事と暮らしをより良くする為に共に頑張りましょう。



見やすいようプロジェクターを使用して説明が行われました

## 支部健康教室の開催 35人が参加

【教育宣伝部発】12月19日(火)、支部会館3階で健康教室が開催されました。

今回は「栄養成分表示について」と「カロリーについて」という2つのテーマを元に、菊池書記(鶴巻管理栄養士)が講師となり講義が行われました。

初めに、服部和美社会保険対策部長から挨拶があり、その後講義が始まりました。

一つ目のテーマの「栄養成分表示について」については、はじめに栄養成分表示とはそもそも何なのかについてお話があり、実際に

カロリーメイトやお菓子などの食品が配られ、パッケージに表示されている栄養成分表示を自分たちの目で見て確認しました。栄養成分表示に関する注意点が説明され、日本の栄養成分表示は熱量(エネルギー)、たんぱく質、脂質、炭水化物、食塩相当量(ナトリウム)の5つの項目は必ず表示しなければいけないと決まっています。

次に5つの栄養素を一つずつ説明していき、熱量は身体を動かすエネルギーであること、たんぱく質は身体を作る材料となることなど細かな説明がありました。食塩相当量に関しては、高血圧などの病気を招く原因となるというイメージが強く、身体にとって悪いものと思っていました。適切な量の摂取は生きるために必要であること、熱中症予防を具体例として挙げて話していました。

熱中症予防の際に水分だけでなく塩分も摂らなければいけない理由は、塩分には水を引き付ける力があり、汗をかくと水分と一緒に塩分も身体から出て行ってしまふため、その力が弱まった状態では水分を補給しても身体に引き留めておくことが出来なくなり排出されてしまいます。そのため、塩分も一緒に摂取する必要がありますと説明がありました。

その後、質疑応答の時間が設けられ、参加者からは「味の濃いものが好きだが、血圧が気になる。何か良い方法は無いか」「食品に塩分量は記載されていないが塩分濃度がパーセントで出ている際の塩分量の計算はどうしたら良いか」などの質問が出ました。後半の「カロリーについて」のお話では、そもそもカロリーとは何に含まれるのか、どのような成分にカロリーが含まれているのかなどについての話があり、実際に用意された食品の栄養成分表示を見ながらカロリー計算を実践しました。次に自分に必要なカロリー



笑顔でインタビューに応じる阿川さん

## 仲間の横顔

【増山國吉記者】西尾久分会)日暮里2分会の阿川達雄さん取材しました。

「や栄養素量はどのくらいなのかを」「日本人の食事摂取基準2020」という資料を使用しながら確認しました。講師の鶴巻さんが自身の年齢や身体活動量などのデータを元に食事摂取基準にあてはめながら計算する様子を見せてくれたため分かりやすかったです。また、講義のおまけでアルコールのカロリーに関するお話や賞味期限と栄養素量の変化にかかわる話、たんぱく質と食品の熟成の関係等について話し、様々な内容の学習が出来ました。

講義終了後には、個別の栄養相談の時間も設けられており、講義だけでは理解できなかった部分も解決することが出来たので勉強になりました。参加者からは、「難しい内容もあったが勉強になった」「次回はがん予防や高血圧予防など具体的な疾病の予防につながる食品などが知りたい」「痩せる食事について聞きたい」など次回参加を希望する声も多く挙がりました。全体の参加者は35人でした。

また、日暮里2分会に入ったことで仲間が増え、日々楽しく過ごしています。仕事でもマンションのリフォームなど分会の仲間と協力してもらうこともあるそうです。現在は保護猫2匹と暮らしています。趣味は梅酒造りです。最近自宅のリフォームなども毎日大工仕事してま

77

阿川 達雄さん (日暮里2分会)

また、ポリカーボネットなどを貼ったりもしています。現在、分会では保険対策推進員をつとめています。最終笑顔でインタビューに応じた阿川さんでした。

# 大間でマグロ食べてみた 漢の一人旅



## マグロを求めて

【小熊賢一 副執行委員】私の趣味は、温泉地を巡りながら旅行をすることです。今回は9月初めに東北の先端、大間まで行ったときのことを記してみたいと思います。

今回の旅の決まりは、車で高速(無料)の高速道路はOK)を使わないで目的地、青森県大間岬まで行くこと。私の場合、旅に出るときは2通りあり、何か月

今回は後者の方で、1日前に宿を予約して途中3泊して大間岬でまぐろを食べ、帰りは、高速を使って車中泊して帰る計画を立てました。最低限の着替えと車にガソリンを入れたら準備完了、翌日の朝、4時半に出発しました。



マグロを求めて辿り着いた大間で1枚

## 初日は熱海温泉へ

初日は、宿泊先は福島県の磐梯熱海温泉です。鎌倉時代に伊豆からこの地の領主になった武将が故郷を偲んで熱海の名を付けたと伝えられている由緒ある温泉地。初日の走行距離は300キロ、4号線日光街道のバイパスをひたすら走り宇都宮の手前で国道121号線へ日光に向かいます。その後ひたすら121号線を走り、山の景色を眺めながら会津若松へ、お昼を食べて、白虎隊で知られている鶴ヶ城を見学します。

猪苗代湖を経由して、16時ごろ初日の目的地、磐梯熱海温泉到着しました。宿泊先は、ホテル華の湯で、泉質はアルカリ性単純温泉ですが、なんと浴槽が30種類もあります。食事は、朝晩ビュッフェなので、好きなものを好きなだけ食べられます。温泉街の大きめなきれいなホテルで、ファミリー向けでした。

## ひたすら走る

2日目は9時に出発。目的地は秋田県、乳頭温泉郷です。七つの宿がありそれぞれ泉質の異なる秘境の温泉地です。走行距離は350キロで会津若松へ戻り再び国道121号線へ喜多方を通り米沢へ、喜多方ラーメンも米沢牛も食べずにひたすら運転。山間を抜ける287号線へ、途中なにも無く信号もほとんど無い、

ノンストップひたすら運転。しかし、国道13号線に入り山形市や新庄市付近は交通量も多めで、かなり時間が掛かりました。途中の道の駅でソフトクリームとわらび餅を食べました。しかし、都市部を抜けるとスムーズな走りとなり、田沢湖へ抜ける農道(近道)をし

ばらく走って、最後は舗装もされていない林道を経て、夕方5時に今夜の宿、鶴の湯へ到着。ここは秘湯感を満喫できる宿で、乳白色の硫黄泉です。大きな露天風呂(混浴)だけど入っているのは男だけ)は砂利が敷き詰められ石の隙間から温泉が湧いているめずらしい温泉。他にも若干泉質の違う浴槽が複数ありました。食事は、囲炉裏のある畳の部屋で、大きめなイワナやみそ仕立ての芋鍋が美味しかったです。テレビも何にもない湯治棟に泊まりました。山奥だから冷房もありません。あるのはうちわ一つだけ。(1人1泊2食付き10890円) 大切な人と2人でどうぞ。

## 豪華な食事に贅沢な景色

3日目は青森県の浅虫温泉を目指します。8年前に青森の三内丸山遺跡まで行ったときに、もう一足のぼして泊まりたかったのですが、時間的に難しいので諦めた温泉。走行距離は210キロとガソリンもだいぶ減ってきましたが、まだ大丈夫そうです。田沢湖まで

その後、青森市内を抜けて2時間程度走って4時すぎに浅虫温泉に到着。浅虫温泉も歴史は古く平安時代に発見された温泉地。今夜の宿は海扇閣。海沿いにあるけっこう立派な宿。泉質は、ナトリウム・カルシウム・硫酸塩・塩化物泉。最上階の9階に展望風呂があって海が一望できます。夕日がとてもきれいでした。



立派な鶴ヶ城と一緒にパシャリ

この夕飯は、前菜やお刺身などが用意されていて、メインは好きなものを取るハイフビュッフェ。そのキヤパは豪華で、どれも美味しい。お寿司のいくらはこぼれるくらい、立派なホタテのパター焼きは7枚も食べてしまいました。朝食もビュッフェで美味しかったです。(1人1泊2食付き20900円) 親孝行するの、ぴったりな宿です。

## ついに目的地へ

4日目は、ついに目的地、大間岬を目指します。走行距離140キロ。ランチに間に合うように9時に出発。国道4号線を走り、途中で初給油し、900キロ走っても、まだ少し余裕があります。ハイブリッドは、ガソリン代がとってもお得。国道279号線へ、しばらく無料の高速道路を走って下北半島を北上(高速の無料区間)って田舎へ行く

くつけこうある)3時間弱走って、ちょうどお昼に大間に到着。全走行距離998.6キロ燃費は28.7でした。結果的に無給油でもたどり着けた感じ。ハイブリッド恐るべし。さて、観光客用の大きめな無料のパーキングに駐車、まぐろのモニュメント前でみんな写真撮影しています。しばらく岬を観光して、いざお店選び。数十件あるお店の中で、海沿いにある比較的立派なお店に入ります。お客さんも30人くらい結構入っているので安心して、一番高い4000円のトロ、中トロ、赤身の入った鉄火丼を注文。ワクワクしながら出来るのを待ちます。待つこと数分、丼にご飯が見えないくらいまぐろで満たされています。12切れも入っていました。お醤油かけて、いざ実食。うーん?味がうすい?水っぽい。三ノ輪の角上魚類の輸入の赤身本まぐろの方がはるかにうまい。こんなはずはない、納得できない。ここはまぐろで日本一の大間のまぐろのはず。これでお腹を満たすのは悲しいので、半分残して、他のお店へ行くことにした。失礼ながらお会計の時に、「大間のまぐろですか?」と聞いてみた。店員さんは、当たり前な事を聞く人だというような顔で、「そう大間産ですよ」と答えました。悔しい。改めて、お店選び。次の失敗は許されないの慎重にお店を選ぶ。露店ばい店員がいくつ

も声を掛けてくる。2周ほど回って、おばちゃんとおばあちゃんが4人で営業してる露店ばいお店に入るところに決めた。3千円の鉄火丼を注文する。出来上がるまで、サービスで焼きハラスを出してくれた。美味しい。出てきた鉄火丼にウニもおまけにのせてくれた。おばさんは、「もうウニ漁はおしまいな。最後のウニよ」と言います。実食。身もしっかりしていて美味しい。でも、満足感には、ほど遠い。完食してお腹パンパンで、お店を出る。結論、残念だけど、三河島の大和水産で鉄火丼を食べた方が、安くて美味しい事が判明しました。大間へ来るガソリン代より高く付いたランチは、残念な結果となっていました。

午後2時ごろ大間を後に帰路に付きまます。高速代を節約したいので、4号線をひたすら南下、途中、道の駅で休憩を取り夜になるまで走り続ける。夜8時ごろ花巻温泉ICで東北道へ、疲れて10時過ぎにはパーキングに入って就寝。翌日は5時半ごろ目が覚めて出発します。疲れたらお昼寝したり休憩をして、午後2時に荒川区に帰って来ました。高速代は夜間割りが効いて7千円弱でした。全ての走行距離は1790.6キロ、平均燃費は27キロでゴール。楽しい旅でした。次回まとまった休みが取れた時は、南紀白浜那智勝浦への旅行を予定しています。



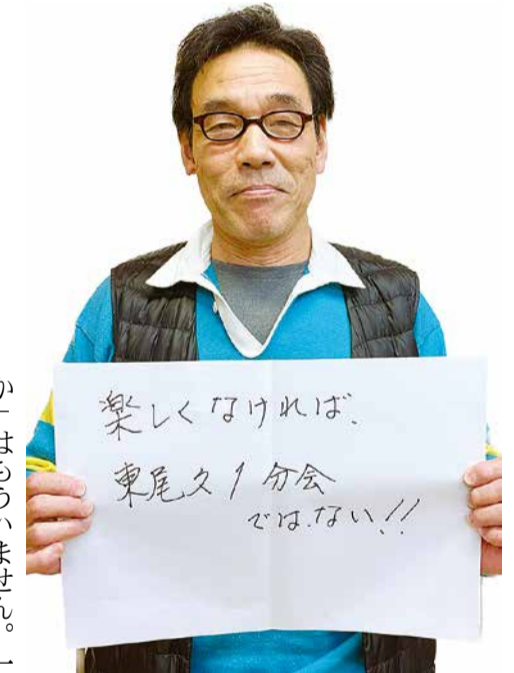


【教育宣伝部発】物価高騰や増税、社会保障制度の改悪やコロナウイルスによる経営悪化など暗いニュースばかりで、明るい話題を聞かない日々が続いています。そこで、少しでも明るい新年となるよう各分会の仲間の今年の抱負や希望、意気込みなどを書いてもらい顔写真を集めました。残念ながら全分会から

# 私たちはどう生きるか



ではありませんでしたが多くの仲間が協力してくれました。若手の担い手不足や資材の高騰など苦しい状況が続きますが、建設業を盛り上げていくためにはより多くの方が組合活動に参加し、声を上げていく必要があります。2023年はコロナウイルスによって制限されていたレクリエーションや懇親会、住宅デーなど



本来の組合活動が出来る状況となりましたが、3年前と比較すると参加者は大幅に減りました。支部だけではなく分会や群でも役員不足で機能しなくなっているところも少なくありません。「誰かがやってくれるから自分がやらなくても大丈夫」。このように思っている方も少なからずいます。しかし、その「誰



か」はもういけません。一人一人が意識を改めなければ組合の存続がもちろん、建設業自体の存続も危うくなってしまうます。荒川支部の機関紙であるこの「おれたち」も5人の部員と担当書記で建設業で働く皆さんに必要な情報を届けられるよう毎月欠かさすことなく必死に作っています。しかし、この数年記事を投稿してくれる方も減っており、頭を悩ませていきます。機関紙づくりも大切な組合活動のひとつです。まずは一歩、自分から始めることから始めてみませんか？

